

鉱工業指数参考図表集
(平成29年9月速報)

平成29年10月31日

経済解析室

URL : <http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

平成29年9月の鉱工業指数(速報)各指数の状況

生産・出荷・在庫・在庫率指数

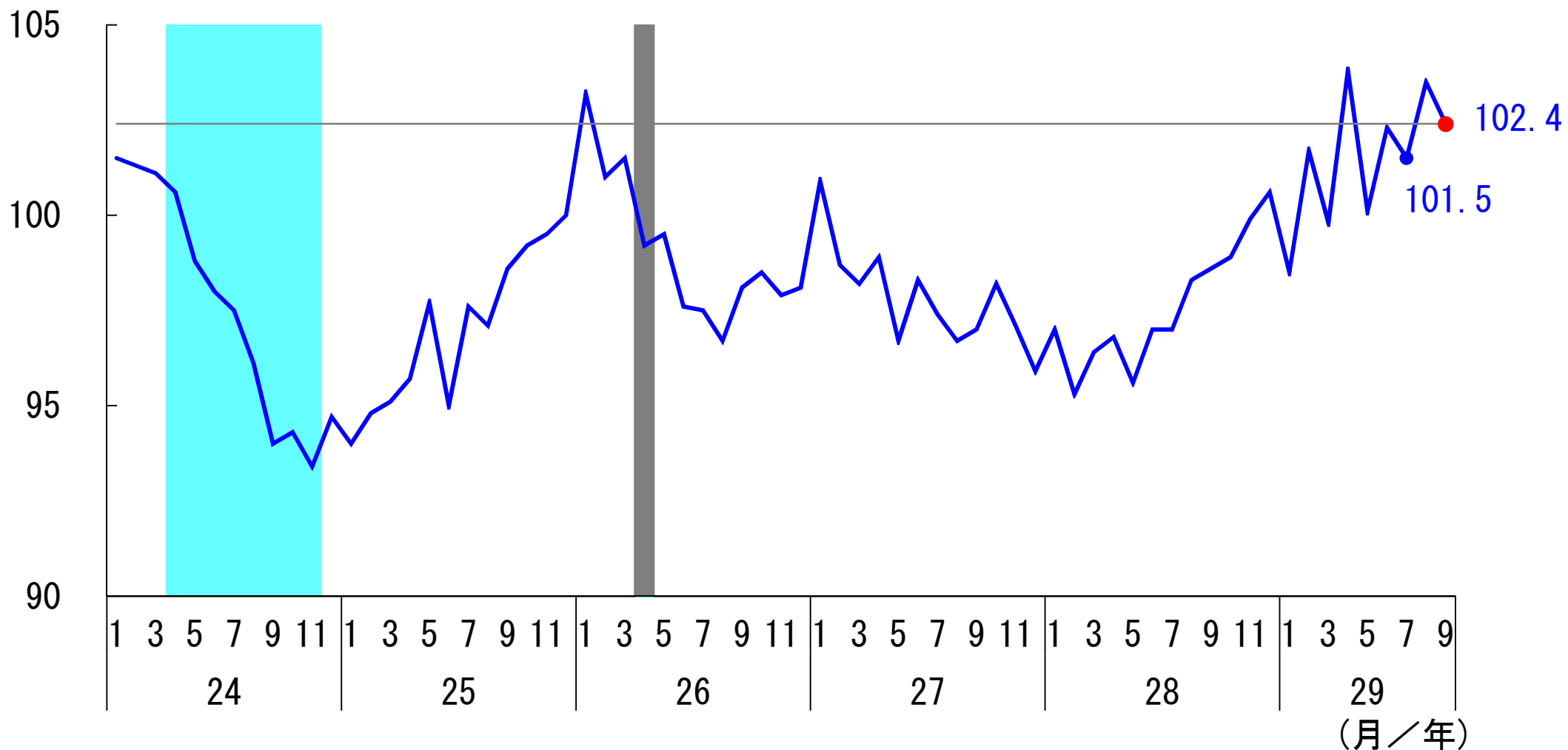
月次	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	102.4	99.2	107.3	110.3
前月比	-1.1%	-2.6%	0.0%	1.6%
指数水準	H29.7 101.5以来 ①H21.2 76.6 ②H21.3 77.6 ③H21.4 81.0	H29.5 98.2以来 ①H21.2 79.2 ②H21.3 79.7 ③H21.4 80.7	—	H29.7 113.3以来 ⅠH21.2 155.6 ⅡH21.1 150.2 ⅢH21.3 146.3
前月比の動き	2か月ぶり－ (H29.7以来)	2か月ぶり－ (H29.7以来)	—	2か月ぶり＋ (H29.7以来)
前月比幅	H29.5 -3.6%以来 ①H23.3 -16.5% ②H21.1 -8.8% ③H21.2 -8.6%	H29.5 -2.9%以来 ①H23.3 -15.7% ②H21.1 -9.5% ③H20.12 -7.1%	—	H29.7 2.6%以来 ⅠH20.11 13.2% ⅡH20.12 9.9% ⅢH21.1 9.8%
前年同月比(原指数)	2.5%	1.4%	-2.4%	-2.8%
前年同月比の動き	11か月連続＋ (H28.11～当月)	11か月連続＋ (H28.11～当月)	16か月連続－ (H28.6～当月)	11か月連続－ (H28.11～当月)
前年同月比幅	H29.8 5.3%以来 ⅠH22.3 29.2% ⅡH22.2 28.8% ⅢH22.4 23.8%	H29.8 5.8%以来 ⅠH22.3 28.4% ⅡH22.2 27.0% ⅢH22.4 25.4%	H29.8 -2.9%以来 ①H21.12 -17.6% ②H22.1 -16.8% ③H21.11 -16.4%	H29.8 -4.1%以来 ①H22.2 -34.0% ②H22.3 -33.8% ③H22.1 -32.1%

(注) Ⅰ～Ⅲは22年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

鉱工業生産指数の動向

- 平成29年9月の鉱工業生産指数は、102.4(前月比-1.1%)と2か月ぶりの低下。
- 平成29年7月の101.5以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



(注) 1. 鉱工業指数(IIP)とは、月々の鉱工業の生産、出荷、在庫等を基準年(現在は、平成22年)の12か月平均=100として指数化したもので、事業所の生産活動、製品の需給動向など鉱工業全体の動きを示す代表的な指標。
2. 水色のシャドー部分は、景気後退局面。
3. 灰色のシャドー部分は、消費税率引上げ。

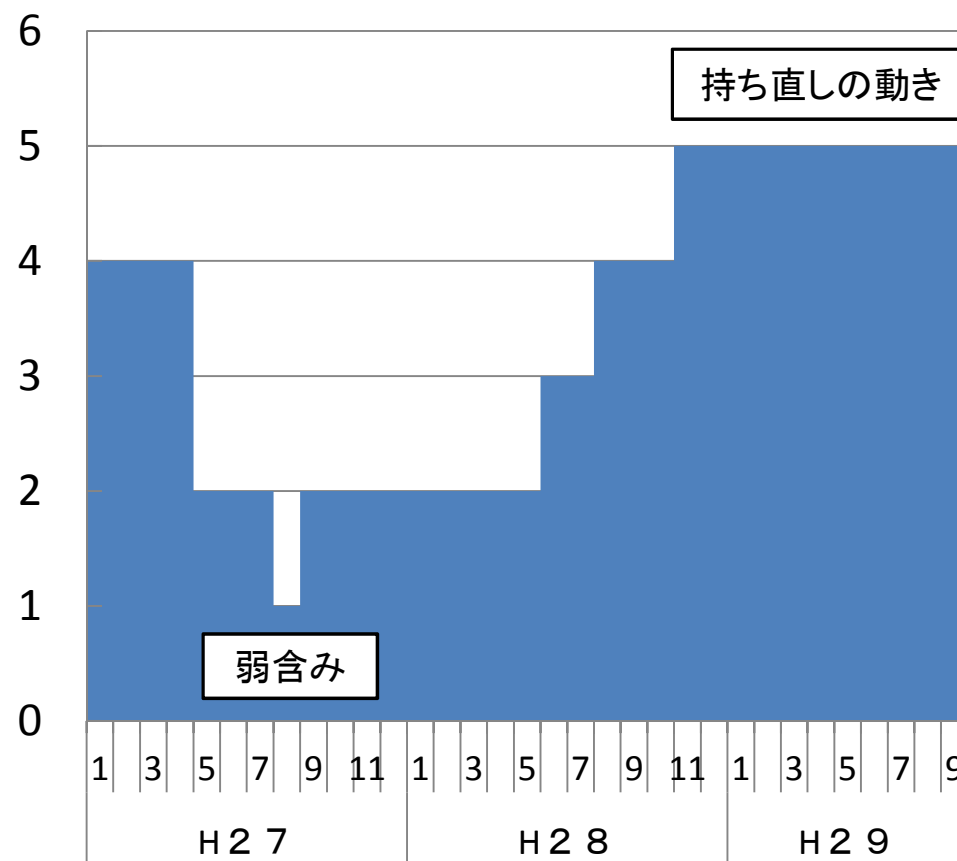
平成29年9月の鉱工業生産の基調判断

「生産は持ち直しの動き」

基調判断の推移

- ・平成26年12月～平成27年4月
「生産は緩やかな持ち直しの動き」
- ・平成27年5月～7月
「生産は一進一退」
- ・平成27年8月
「生産は弱含み」
- ・平成27年9月～平成28年5月
「生産は一進一退」
- ・平成28年6月、7月
「生産は一進一退だが、一部に持ち直し」
- ・平成28年8月～10月
「生産は緩やかな持ち直しの動き」
- ・平成28年11月～
「生産は持ち直しの動き」

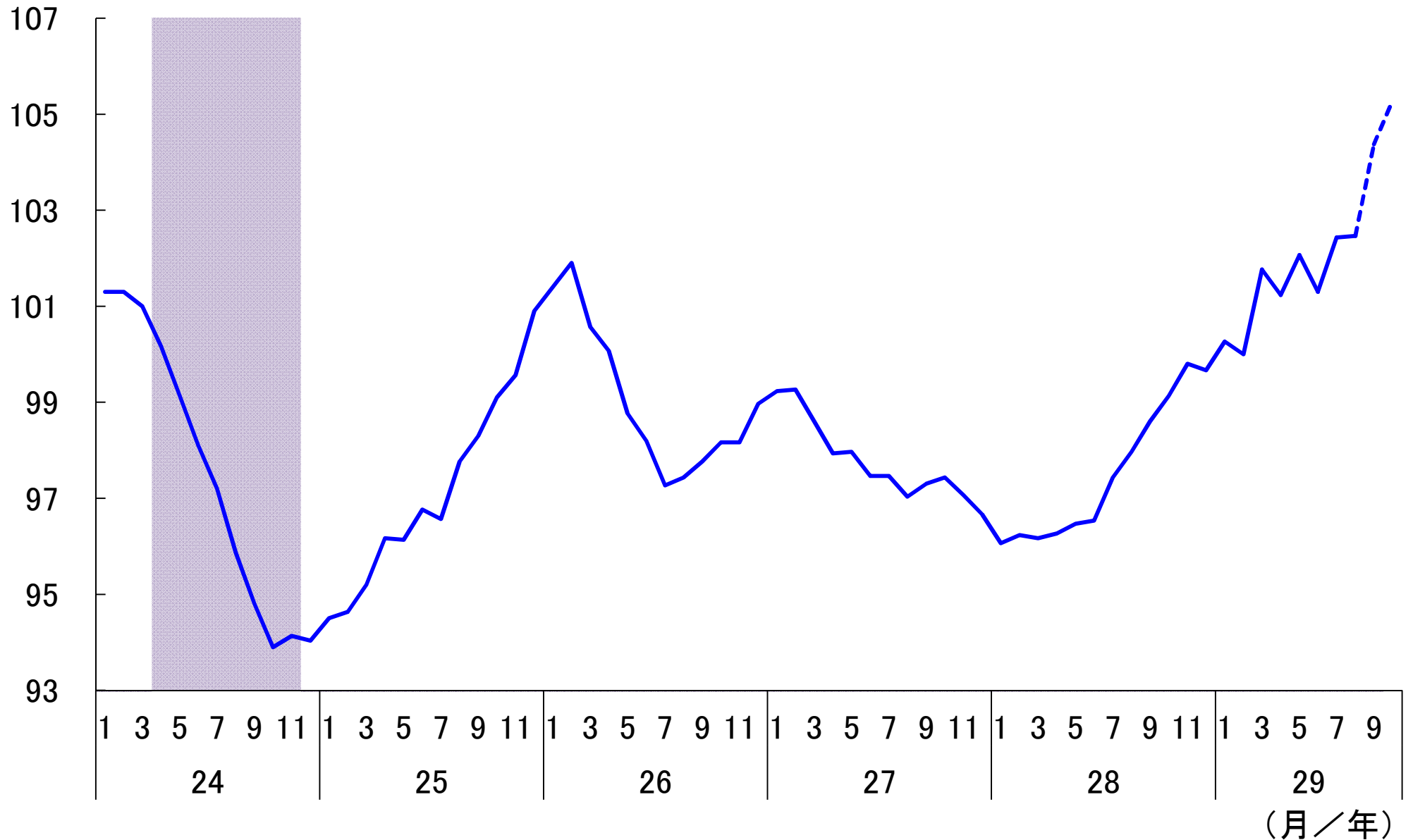
基調判断の変化



(注)平成27年8月の「生産は弱含み」を1として、基調判断が上方修正されたら一律で1上昇、下方修正されたら一律で1低下というルールで作成。

参考：鋳工業生産指数（3か月移動平均値）の動向

（22年＝100、季節調整済）



（注）紫色のシャド一部分は、景気後退局面。

平成29年9月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（業種別）

		業種・品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を 上昇 方向へ引っ張った3業種の中で 上昇への影響度が大きい 2品目	1位の業種	化学工業（除. 医薬品）	7.6%	71.3%
	品目	化粧品	13.9%	40.1%
		プラスチック	5.2%	7.0%
	2位の業種	石油・石炭製品工業	4.4%	6.2%
	品目	石油製品	4.4%	6.2%
	3位の業種	非鉄金属工業	0.8%	1.7%
品目	非鉄金属地金	3.9%	1.8%	
	電線・ケーブル	3.4%	1.7%	
鉱工業生産を 低下 方向へ引っ張った3業種の中で 低下への影響度が大きい 2品目	1位の業種	電子部品・デバイス工業	-5.6%	-46.9%
	品目	電子部品	-6.9%	-27.2%
		集積回路	-6.8%	-23.9%
	2位の業種	はん用・生産用・業務用機械工業	-2.4%	-34.7%
	品目	土木建設機械	-9.6%	-15.8%
		半導体・フラットパネル製造装置	-6.0%	-12.2%
	3位の業種	金属製品工業	-7.0%	-25.5%
	品目	建設用金属製品	-28.0%	-19.6%
建築用金属製品		-1.7%	-1.6%	

寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全93業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

(注)全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

平成29年9月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（全体・財別）

<全体>

		品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を 上昇 方向 に引っ張った3品目	1位	化粧品	13.9%	40.1%
	2位	乗用車	2.8%	20.1%
	3位	産業用ロボット	8.1%	10.2%
鉱工業生産を 低下 方向 に引っ張った3品目	1位	電子部品	-6.9%	-27.2%
	2位	集積回路	-6.8%	-23.9%
	3位	建設用金属製品	-28.0%	-19.6%

<財別＝用途別>

	解説	品目名	前月比	寄与率
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	3.4%	43.8%
		美容液	52.9%	22.2%
		モイスチャークリーム	55.2%	14.5%
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	1.5%	14.1%
		普通乗用車	3.5%	15.9%
		軽乗用車	6.5%	4.6%
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	-4.4%	-22.5%
		橋りょう	-45.9%	-15.6%
		鉄骨	-8.6%	-2.5%
生産財	原材料として投入される製品	生産財	-1.1%	-50.5%
		アクティブ型液晶素子（中・小型）	-26.4%	-28.8%
		駆動伝導・操縦装置部品	-5.3%	-13.3%
資本財 （除. 輸送機械）	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財（除. 輸送機械）	-3.8%	-58.2%
		フラットパネル・ディスプレイ製造装置	-29.2%	-13.9%
		ショベル系掘削機械	-10.4%	-13.4%

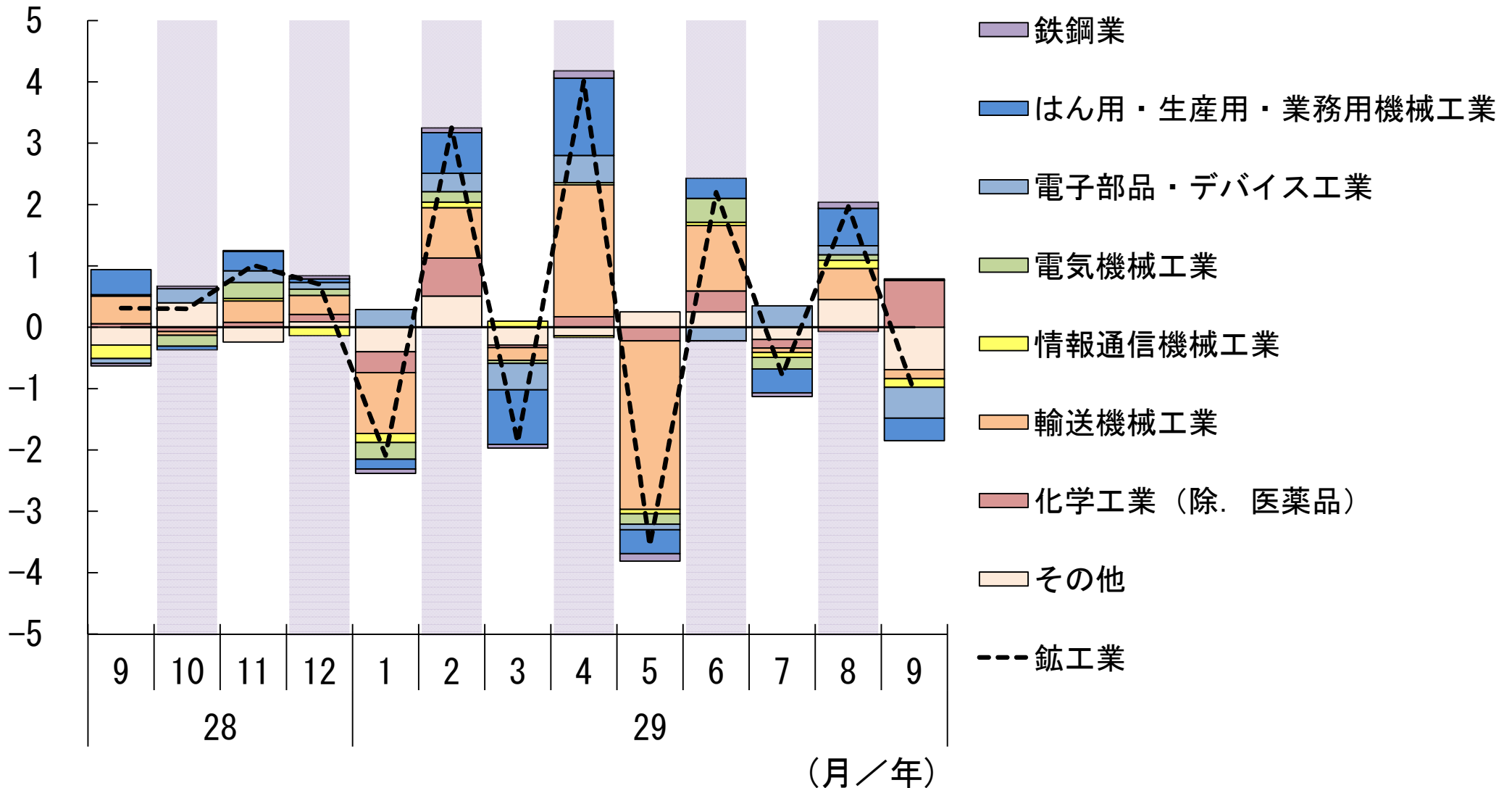
寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全93業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

（注）全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

鉱工業生産前月比 業種別の影響度合い

- 平成29年9月の生産指数は、化学工業（除. 医薬品）などが上昇したものの、電子部品・デバイス工業などが低下したため、前月比-1.1%の低下。

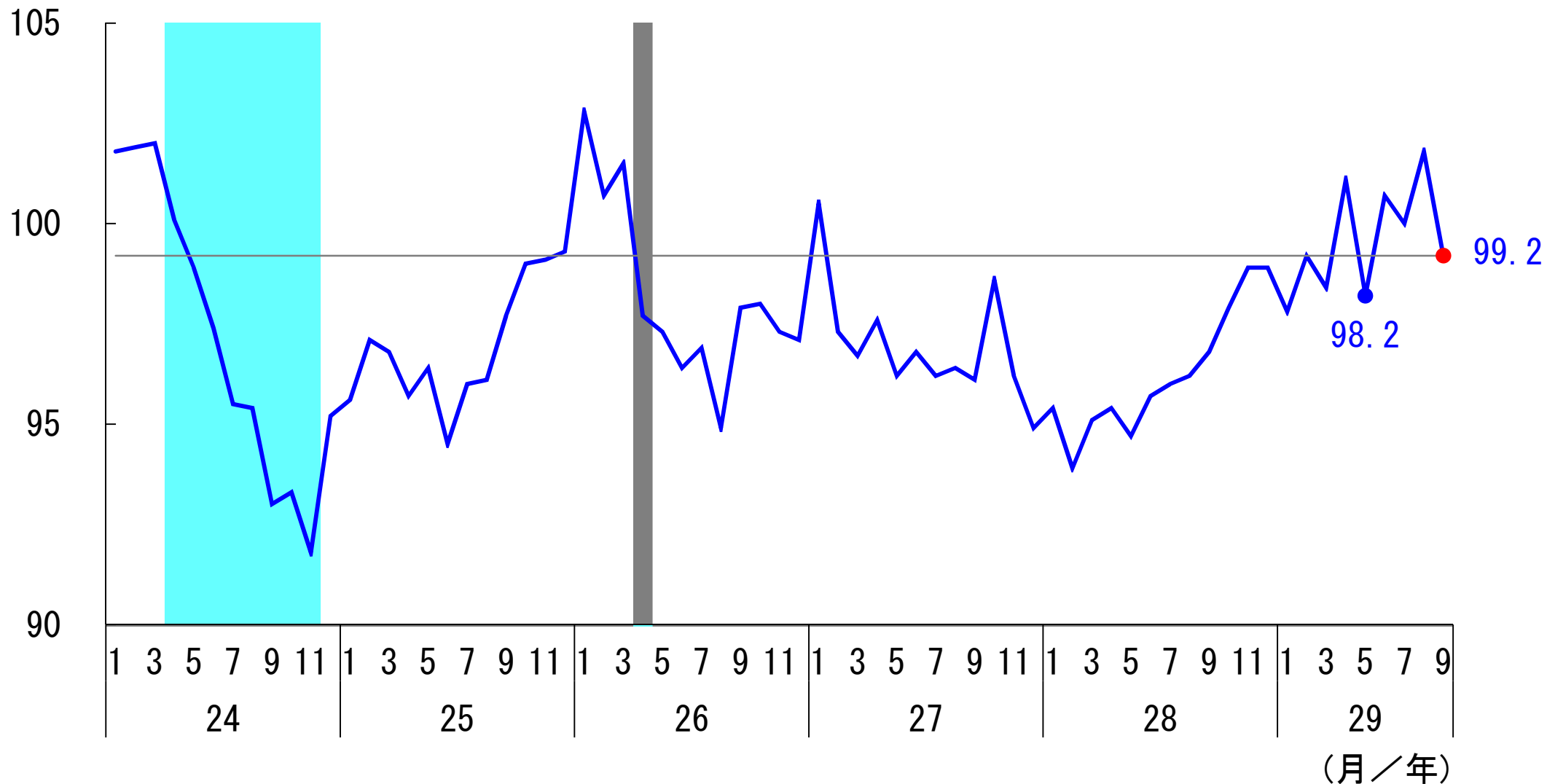
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



鋳工業出荷指数の動向

- ・平成29年9月の鋳工業出荷指数は、99.2(前月比-2.6%)と2か月ぶりの低下。
- ・平成29年5月の98.2以来の指数水準。

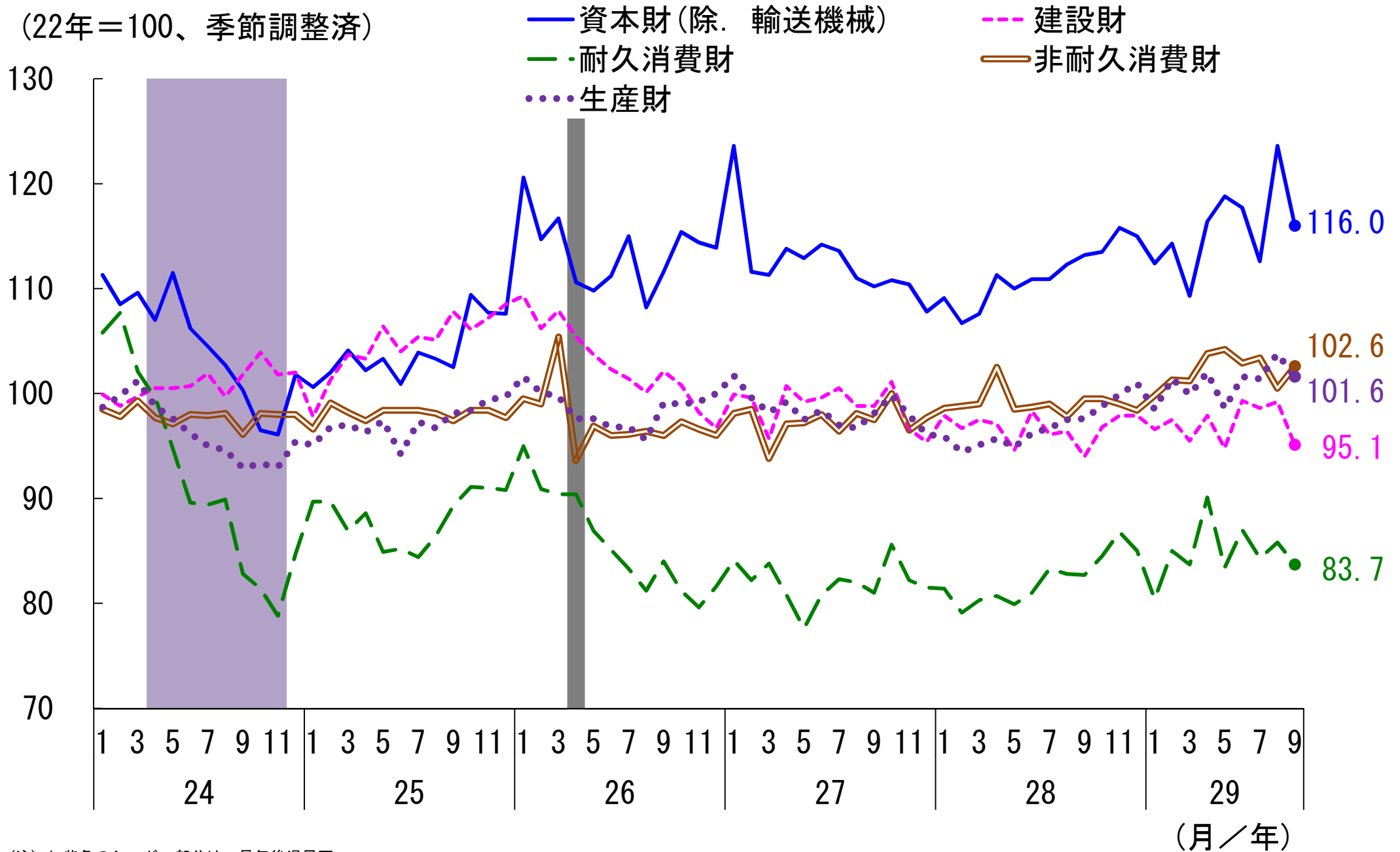
(22年=100、季節調整済)



(注) 1. 水色のシャドー部分は、景気後退局面。
2. 灰色のシャドー部分は、消費税率引上げ。

財別出荷指数の動向

(22年=100、季節調整済)

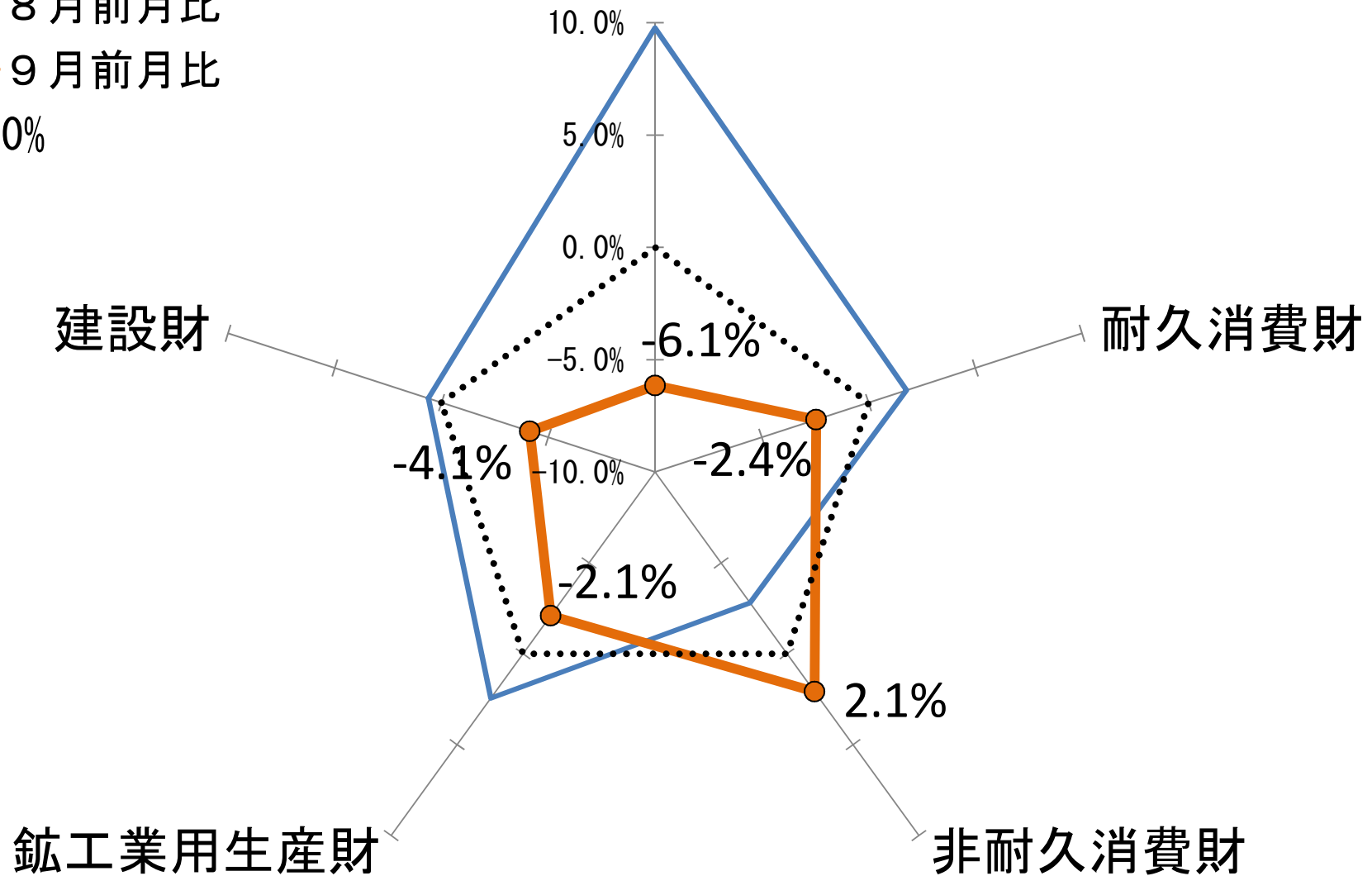


(注) 1. 紫色のシャドー部分は、景気後退局面。
2. 灰色のシャドー部分は、消費税率引上げ。

財別出荷指数の前月比比較（平成29年8月、9月）

資本財(除. 輸送機械)

- 8月前月比
- 9月前月比
-0%



平成29年9月の鉱工業出荷指数を大きく動かした品目(財別)

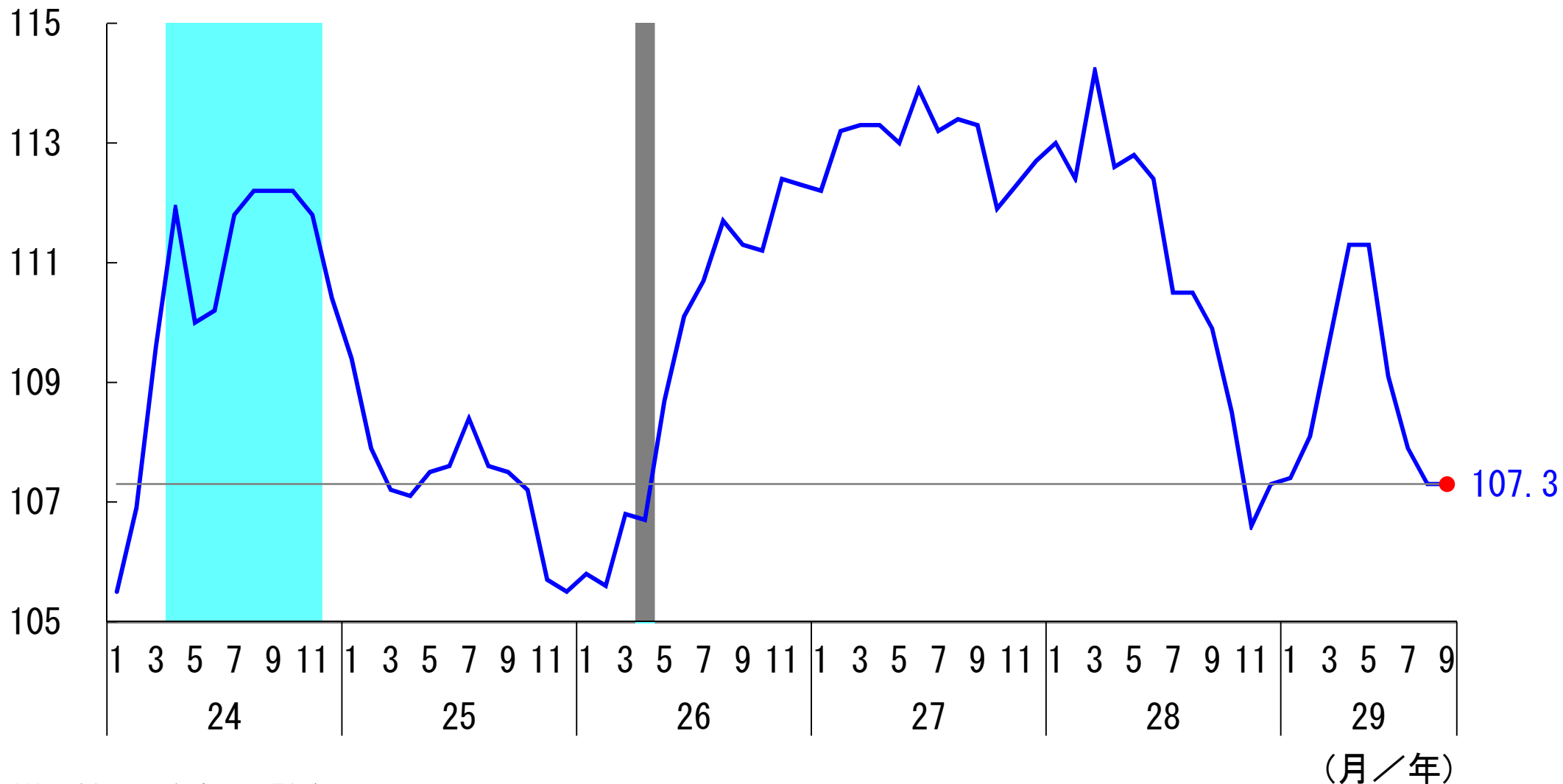
	解説	品目名	前月比	寄与率
生産財	原材料として投入される製品	生産財	-2.1%	-42.6%
		アクティブ型液晶素子(中・小型)	-13.2%	-7.2%
		モス型半導体集積回路(CCD)	-16.8%	-6.6%
資本財	クレーンや金属工作機械など設備投資に向けられる製品	資本財(除. 輸送機械)	-6.1%	-34.4%
		水管ボイラ	-79.9%	-15.0%
		フラットパネル・ディスプレイ製造装置	-30.9%	-6.6%
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など家計で購入される製品	耐久消費財	-2.4%	-12.3%
		小型乗用車	-10.7%	-7.7%
		携帯電話	-30.0%	-3.3%
建設財	鉄骨やセメントなど建設投資に向けられる製品	建設財	-4.1%	-8.7%
		橋りょう	-46.3%	-5.5%
		鉄骨	-8.7%	-1.2%
非耐久消費財	食料品や衣料品など家計で購入される製品	非耐久消費財	2.1%	9.4%
		ガソリン	2.6%	-1.6%
		合成洗剤	9.8%	-1.6%

寄与率：出荷全体の変動に対して影響を及ぼした、財別の影響の度合い。全ての寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

鋳工業在庫指数の動向

・平成29年9月の在庫指数は、107.3(前月比0.0%)と横ばい。

(22年=100、季節調整済)

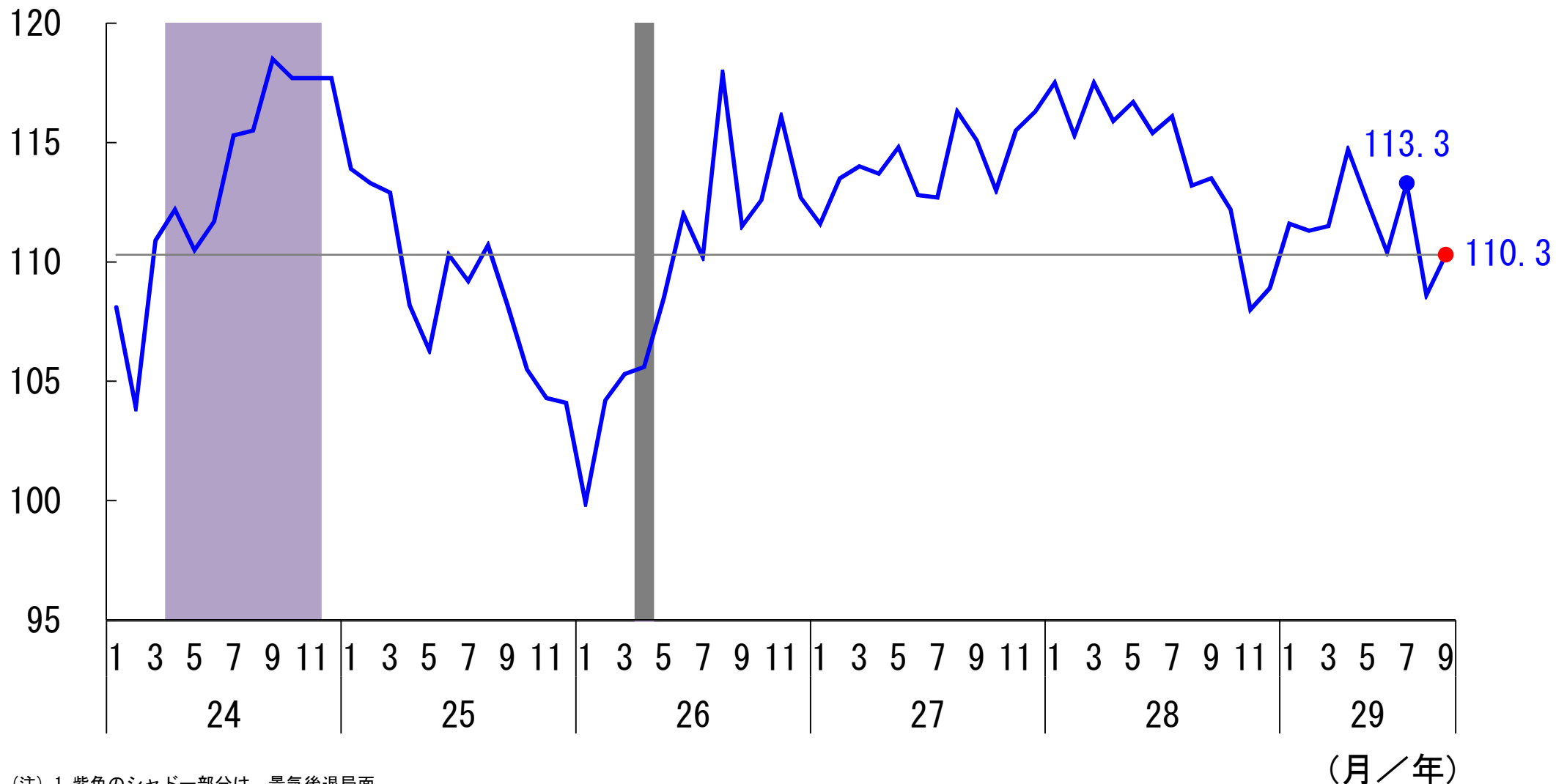


(注) 1. 水色のシャドー部分は、景気後退局面。
2. 灰色のシャドー部分は、消費税率引上げ。

鋳工業在庫率指数の動向

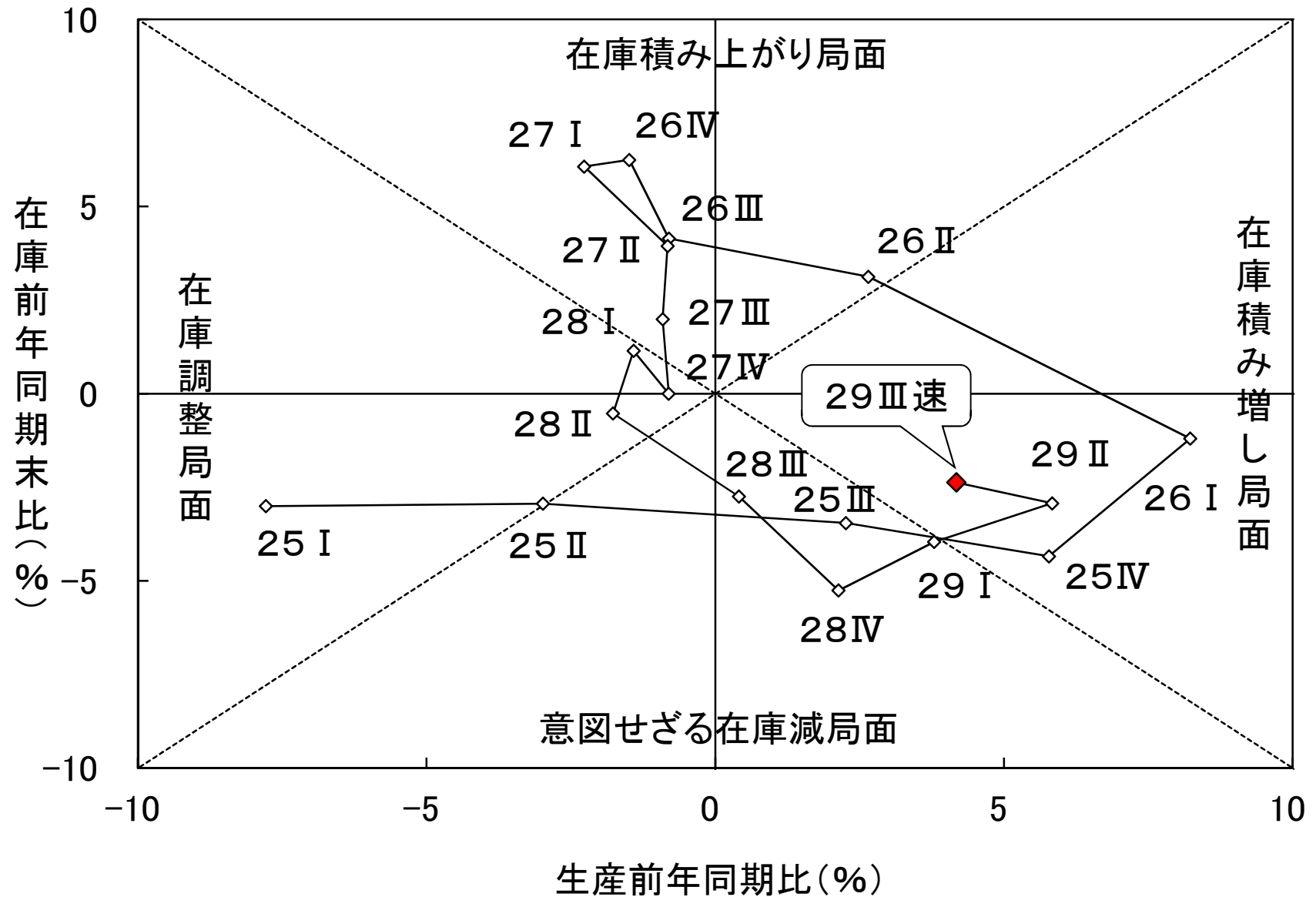
- ・平成29年9月の在庫率指数は、110.3(前月比1.6%)と2か月ぶりの上昇。
- ・平成29年7月の113.3以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)

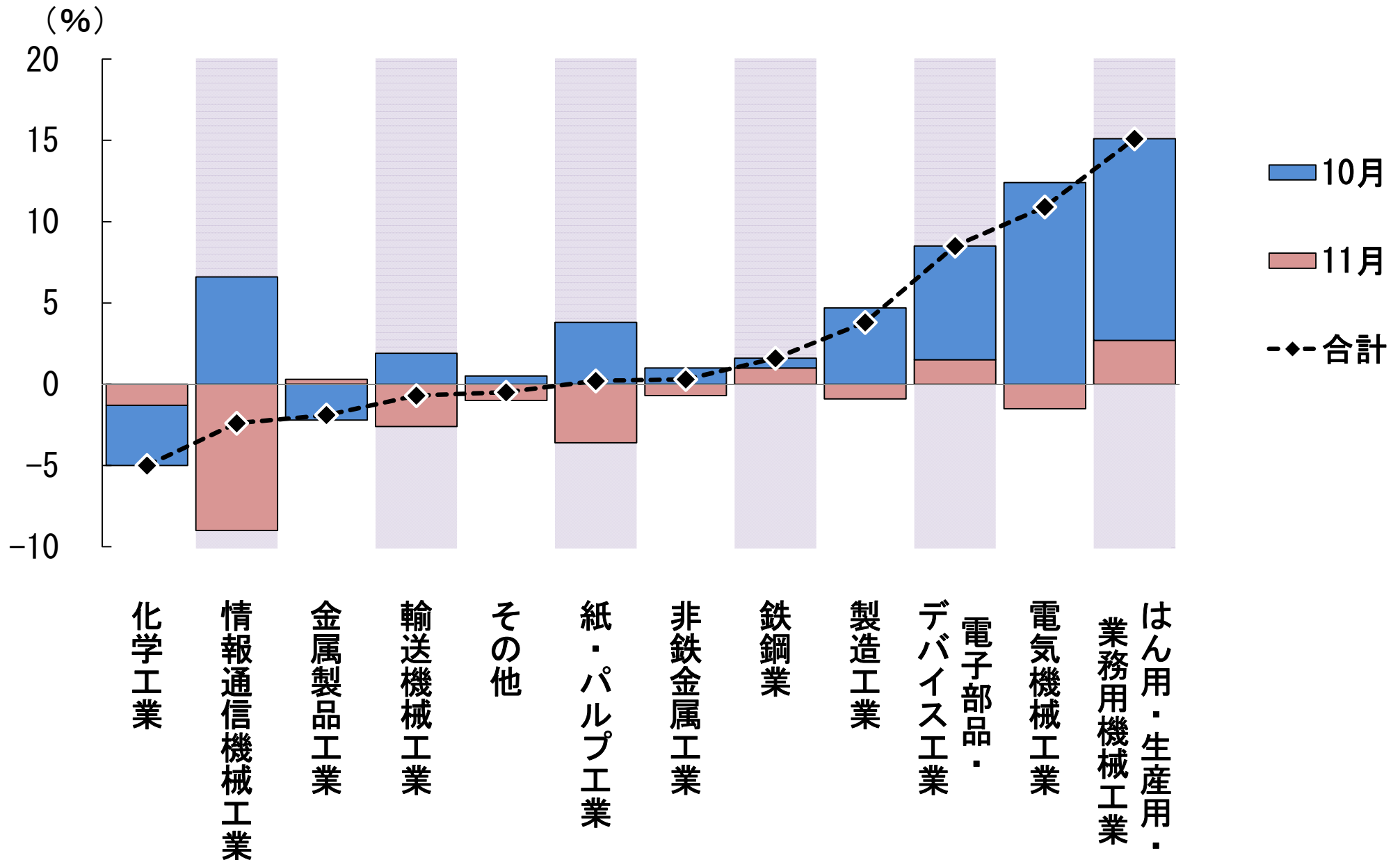


(注) 1. 紫色のシャド一部分は、景気後退局面。
2. 灰色のシャド一部分は、消費税率引上げ。

鋁工業の在庫循環図



2ヶ月の生産予測伸び率（製造工業生産予測指数）



平成29年10月生産計画の寄与順位表

上昇寄与業種	計画前月比
はん用・生産用・ 業務用機械工業	12.4%
電気機械工業	12.4%
電子部品・ デバイス工業	7.0%
輸送機械工業	1.9%
情報通信機械工業	6.6%
紙・パルプ工業	3.8%

上昇寄与業種	計画前月比
その他	0.5%
鉄鋼業	0.6%
非鉄金属工業	1.0%
低下寄与業種	計画前月比
金属製品工業	-2.2%
化学工業	-3.7%

(注) 低下寄与業種は、一番下が最も低下寄与（影響度）が大きくなるように並んでいます。

平成29年11月生産計画の寄与順位表

上昇寄与業種	計画前月比
はん用・生産用・ 業務用機械工業	2.7%
電子部品・ デバイス工業	1.5%
鉄鋼業	1.0%
金属製品工業	0.3%
低下寄与業種	計画前月比
非鉄金属工業	-0.7%

低下寄与業種	計画前月比
その他	-1.0%
紙・パルプ工業	-3.6%
化学工業	-1.3%
電気機械工業	-1.5%
情報通信機械工業	-9.0%
輸送機械工業	-2.6%

(注) 低下寄与業種は、一番下が最も低下寄与（影響度）が大きくなるように並んでいます。

平成29年7-9月期の鉱工業指数(速報)各指数の状況

生産・出荷・在庫・在庫率指数

四半期	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	102.5	100.3	107.3	110.7
前期比	0.4%	0.3%	-1.6%	-1.6%
指数水準	H20Ⅲ 110.5以来 ⅠH20Ⅰ 116.8 ⅡH20Ⅱ 114.8 ⅢH20Ⅲ 110.5	H26Ⅰ 101.7以来 ⅠH20Ⅰ 118.2 ⅡH20Ⅱ 115.0 ⅢH20Ⅲ 109.4	H28Ⅳ 107.3以来 (超)H26Ⅰ 106.8以来 ①H23Ⅰ 97.7 ②H21Ⅳ, H22Ⅲ 99.1 ③H22Ⅰ 99.6	H28Ⅳ 109.7以来 ①H20Ⅰ 96.8 ②H22Ⅲ 97.9 ③H20Ⅱ 98.1
前期比の動き	6期連続+ (H28Ⅱ～当期)	2期連続+ (H29Ⅱ～当期)	2期連続- (H29Ⅱ～当期)	3期ぶり- (H28Ⅳ以来)
前期比幅	H29Ⅱ 2.1%以来 ⅠH21Ⅳ, H23Ⅲ 7.1% ⅡH21Ⅲ 6.1% ⅢH21Ⅱ 5.3%	H29Ⅱ 1.5%以来 ⅠH23Ⅲ 9.0% ⅡH21Ⅳ 7.7% ⅢH21Ⅲ 6.3%	H28Ⅳ -2.4%以来 ①H21Ⅰ -7.2% ②H21Ⅱ -5.9% ③H23Ⅰ -4.2%	H28Ⅳ -4.0%以来 ①H21Ⅱ -12.1% ②H21Ⅲ -11.7% ③H21Ⅳ -8.4%
前年同期比(原指数)	4.2%	3.7%	-2.4%	-3.1%
前年同期比の動き	5期連続+ (H28Ⅲ～当期)	4期連続+ (H28Ⅳ～当期)	6期連続- (H28Ⅱ～当期)	5期連続- (H28Ⅲ～当期)
前年同期比幅	H29Ⅱ 5.8%以来 ⅠH22Ⅰ 24.8% ⅡH22Ⅱ 19.7% ⅢH22Ⅲ 14.6%	H29Ⅱ 5.2%以来 ⅠH22Ⅰ 24.8% ⅡH22Ⅱ 20.6% ⅢH22Ⅲ 13.8%	H29Ⅱ -2.9%以来 ①H21Ⅳ -17.6% ②H21Ⅲ -12.4% ③H22Ⅰ -10.5%	H29Ⅰ -4.5%以来 ①H22Ⅰ -33.2% ②H22Ⅱ -25.4% ③H22Ⅲ -16.1%

(注) Ⅰ～Ⅲは22年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

鋁工業生産指数前期比 業種別の影響度合い

- 平成29年7-9月期の生産指数は、情報通信機械工業などが低下したものの、化学工業（除. 化学工業）などが上昇したため、前期比0.4%の上昇。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)

